

2019年8月9日

日揮株式会社

2019年度1四半期

テレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2019年8月8日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2019年8月8日）時点の情報に基づく内容です。

質問	回答
当四半期の決算はほぼ会社の計画通りという認識で良いか。	ご理解の通りである。
通期予想に対し、当四半期の売上高の進捗率が低い要因を教えてください。為替（円高）の影響があったのか。	売上高の進捗が低い要因は、ヤマル LNG プロジェクトやイクシス LNG プロジェクトをはじめとする大型案件が終息したことに加え、LNG カナダプロジェクトの進捗が本年度後半に上がり始めると予測していることによるものである。なお、為替（円高）の影響は軽微であった。
当四半期の粗利益率は 7.7%と通期業績予想と同程度の水準になったが、プラス要因とマイナス要因があれば、その内容をご説明願いたい。	プラス要因は、ヤマル LNG プロジェクトのコンティンジェンシーの取り崩しによる採算改善である。 一方、マイナス要因は、アルジェリア案件（サテライト設備）で発生したストライキおよびラマダンの影響等によって建設工事の生産性が低下し、現場作業員の追加動員など進捗のキャッチアップのために見込まれる追加コストを計上したことによるものである。 具体的な金額の内訳については、非開示とさせていただきます。 なお、他のアルジェリア案件（ガス昇圧設備、ガス処理）では、現時点において採算悪化はしていないが、同国では大統領選挙延期に伴う政情不安が続いており、引き続き注視が必要と認識している。

クウェートの製油所案件の進捗状況はどうか。	当四半期において、クウェート案件は追加コストを計上していないが、現在メカニカル・コンプリーションに向けて、顧客の厳格な品質要求に対する手直し工事などを遂行中であり、引き続き厳しい管理が必要と認識している。
モザンビーク向けエリア4 LNG 建設プロジェクト、ナイジェリア LNG 増設プロジェクト、および米ジョーダンコーブ LNG 建設プロジェクトの入札状況のアップデートをお願いしたい。	モザンビーク向け LNG のエリア4 は、本年3月下旬に入札済みである。現在、顧客によるクラリフィケーションが行われており、遠くない時期に結果が判明すると予測している。 ナイジェリア LNG は、今年度中に入札結果が判明すると予測している。 ジョーダンコーブ LNG は、2019 年中に FID が実施される見通しであったが、顧客による FERC (米エネルギー規制委員会) などの許認可の遅れにより、2020 年にずれ込む可能性が高まっていると認識している。

以上